

授業科目等の概要

(工業専門課程 情報システム科(SEコース))															
分類	授業科目名			授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1		○		一般教養 (Driving Licence)	就職活動で不利にならないように自動車運転免許を取得する。利息計算や単位換算など事務処理に必要な算出方法を身につけ、全国経理教育協会主催の計算実務能力検定を受験する。	1	48	○	○			○		○	
2		○		一般教養	利息計算や単位換算など事務処理に必要な算出方法を身につけ、全国経理教育協会主催の計算実務能力検定を受験する。	1	48	○	○			○		○	
3	○			就職実務 I	就職活動に向けて知識・マナーなどを身につけ、仕事観や人生観を養い働く意識を高める。	1	56	○		○		○		○	○
4	○			商業簿記	全国経理教育協会 簿記能力検定3 級程度の知識を身につけ検定の合格を目指す。	1	88	○	○			○		○	
5	○			ワープロ	PC の基本操作を身につけると共に、Microsoft Office Word を利用してビジネス文書作成の基礎を身につける。	1	32	○		○		○		○	
6	○			表計算	PC の基本操作を身につけると共に Microsoft Office Excel を利用して資料作成の基礎を身につける。	1	48	○		○		○		○	
7	○			国家試験対策 I	情報処理の国家資格である基本情報技術者試験の合格を目指して学習し、IT 関連の各種用語を理解および擬似言語等のプログラミングに関することを学ぶ。	1	120	○	○			○		○	
8	○			コンピュータ概論	情報処理の国家資格である基本情報技術者試験や J 検の合格を目指して学習し、コンピュータに関する。基礎的な知識を身につけ、IT 関連の各種用語を理解する。	1	128	○	○			○		○	
9	○			HTML&CSS	HTML と CSS を組み合わせて基本的な Web ページ作成技術を習得する。	1	48	○		○		○		○	
10	○			Web デザイン	ベクターグラフィックスでの描画と、アプリケーションの操作を理解する。	1	32	○		○		○		○	
11	○			プログラムテクニック	フローチャートや擬似言語の作成を通してプログラミング的思考を身につけ、アルゴリズムを理解する。また、アルゴリズムを用いて実際にプログラミングをすることで、より理解を深める。	1	112	○	○			○		○	

12	○		Visual Basic	専門学生としてプログラミング的思考を身につけ、論理的思考力を育み、プログラミングの基礎を習得する。Visual Basic というプログラミング言語を学び、基本的な仕組みを理解する。	1	80	○	○	○	○				
13	○		JAVA I	プログラミング言語である Java の基礎を学び、基本的な文法やコーディング規約を身につけ、基本的なアルゴリズムに基づいてプログラムを作成する。プログラミングを通してオブジェクト指向を理解する。	1	112	○	○	○	○				
14	○		就職実務Ⅱ	就職試験に対する訓練を行い、余裕を持って臨めるようにする。また、入社後の働き方や考え方について学ぶ。	2	56	○	○	○	○			○	○
15	○		英会話	英語で話しかけられた時、それを受け止められるようになる。アメリカ（西欧）と日本文化、考え方の違いを理解する。	2	56	○	○	○	○			○	
16	○		テクニカルライティング	自己の考えや思いを正確にわかりやすく伝える表現能力を高める。他者の考えや思いを正しく受け止め、理解する能力を高める。様々な文種の文章を読み、視点を変えて思考することを通して表現を豊かにしていく。語彙を増やし、使えるようにして語彙力を高める。	2	56	○	○	○	○			○	
17	○		国家試験対策Ⅱ	情報処理の国家資格である基本情報技術者試験の合格を目指して学習し、IT 関連の各種用語を理解および擬似言語等のプログラミングに関することを学ぶ。既に合格している者は、レベル 3 の応用情報技術者試験を受験する。同様に、応用情報技術者試験に合格している者は、レベル 4 を受験する。	2	120	○	○	○	○			○	○
18	○		卒業研究	2年間で学んだことの集大成として、作品を作ることで研究を重ねていく。	2	152	○	○	○	○			○	○
19	○		プレゼンテーション	デスクトッププレゼンテーションを中心とした情報提示能力と、聞き手に伝える「伝達能力」を身につけ、効果的なプレゼンテーション技法を学ぶ。	2	56	○	○	○	○			○	○
20	○		データベース	前期では Microsoft Office Specialist に合格できるように試験対策を中心とした授業内容となり、データベースソフトの基本操作を修得する。後期では、日常的に利用されているデータベースがどのようなものであるかを理解し、作成する。	2	56	○	○	○	○			○	○
21	○		Web プログラミング	HTML と CSS、各種グラフィックソフトを連携し、Web サイトを構築させる。実際の業務フローを意識させる。	2	56	○	○	○	○			○	○
22	○		ネットワーク構築技法	これまでに学んだネットワークやセキュリティの知識を活かし、社内ネットワークを想定して構築する。さらに、サーバ構築・設定方法を学び、ネットワークの理解を深める。	2	56	○	○	○	○			○	○
23	○		システムデザイン	ソフトウェアの設計手法について学び、実践しながら設計する能力を身につける。	2	64	○	○	○	○			○	○

24	○		C 言語	ポインタの概念を学ぶとともに、プログラミング言語への適応性を高める。	2	56	○	○	○	○	○	○
25	○		ITマネジメント	ソフトウェア開発の基礎とセキュリティの基礎を学ぶ。	2	64	○	○	○	○	○	○
26	○		JAVA II	オブジェクト指向に対する理解を深め、実習課題を通じて Java 言語によるプログラミング能力を向上させる。	2	56	○	○	○	○	○	○
合計					26	科目	1808 単位 (単位時間)					

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
①成績評価がすべてC以上②卒業基準検定の取得③2年次において要出席日数から公欠, 欠席, 遅刻, 早退を除いた出席率が80%以上で, かつ欠席率が10%未満④本校で定められた授業料、その他納付金を納入し終えた者 卒業要件: 卒業認定会議で上記基準に照らし合わせて卒業を認定。		1 学年の学期区分	2 期
履修方法: 一般教養は卒業要件に必要な科目数を選択で履修、その他の専門科目はすべて全員が必履修。		1 学期の授業期間	16 週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。